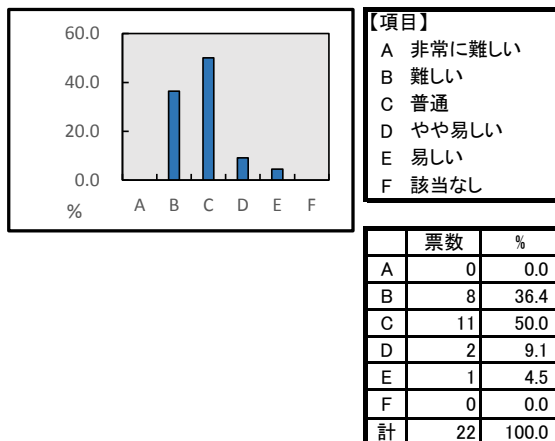


2016年度前期大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程講義アンケートとその内容報告

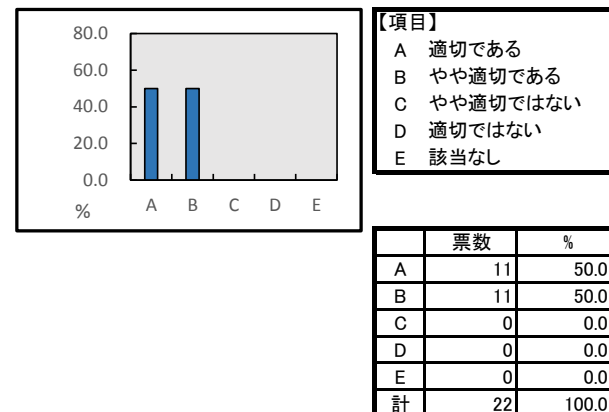
2016年7月実施

1. 講義内容について

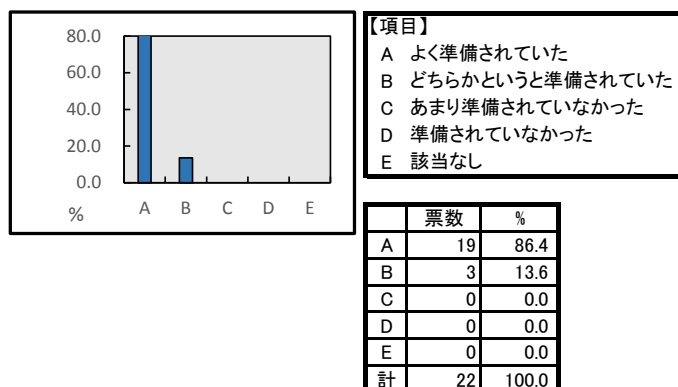
(1) 難易度について



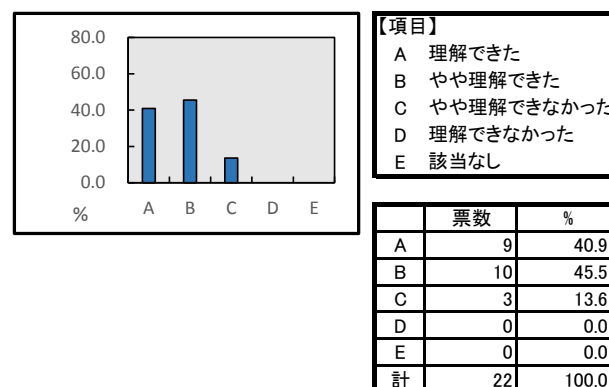
(2) 大学院講義としての適切性について



(3) 教員の準備について



(4) 理解度について



(5) 講義全体で良かった点

- ・先生がとても親切であった。
- ・英会話やプレゼンテーションなど楽しく学べた。
- ・興味深い話を聞くことができた。
- ・よく授業の準備がなされていた。
- ・一方的な授業でなかった。
- ・スライドを用いていたので理解しやすかった。
- ・授業の内容が日常生活と関係があったので理解しやすかった。
- ・スライド内に簡単なクイズがあり、集中力が切れずに授業に参加できた。
- ・試験も復習をしっかり行っていれば点の取れる内容だったのでよかった。
- ・先生方が全体的に親切で優しかったので、授業を受けるのが毎週の楽しみだった。
- ・気になったところを質問した際、詳しく分かりやすく説明してもらい理解を深めることができた。
- ・糖尿病からタンパク質工学など幅広い分野の講義であったが、イメージが付きやすく、分かりやすかった。
- ・発音がよくなった。
- ・勉強しやすい雰囲気だった。
- ・学生のペースで進めていた。
- ・様々な分野の研究内容で勉強になった。
- ・スライドに写真が多く、実験の内容や流れが理解しやすい。
- ・詳しい説明だったので、分かりやすかった。

(6) 講義全体で悪かった点

- ・時々簡単すぎる内容だった。
- ・有機初心者には難しかった。

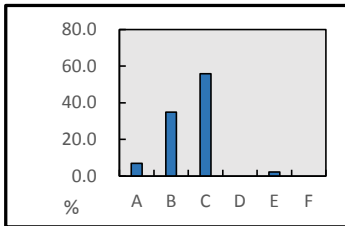
2. その他、講義に対する希望やご意見などを記載してください。 特になし。

2016年度前期大学院薬学研究科薬学専攻博士課程講義アンケートとその内容報告

2016年7月実施

1. 講義内容について

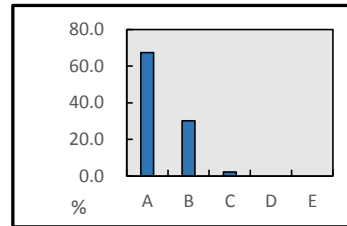
(1) 難易度について



【項目】	
A	非常に難しい
B	難しい
C	普通
D	やや易しい
E	易しい
F	該当なし

	票数	%
A	3	7.0
B	15	34.9
C	24	55.8
D	0	0.0
E	1	2.3
F	0	0.0
計	43	100.0

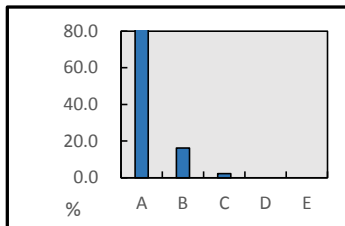
(2) 大学院講義としての適切性について



【項目】	
A	適切である
B	やや適切である
C	やや適切ではない
D	適切ではない
E	該当なし

	票数	%
A	29	67.4
B	13	30.2
C	1	2.3
D	0	0.0
E	0	0.0
計	43	100.0

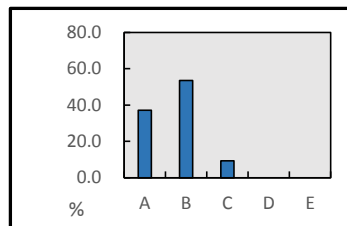
(3) 教員の準備について



【項目】	
A	よく準備されていた
B	どちらかというと準備されていた
C	あまり準備されていなかった
D	準備されていなかった
E	該当なし

	票数	%
A	35	81.4
B	7	16.3
C	1	2.3
D	0	0.0
E	0	0.0
計	43	100.0

(4) 理解度について



【項目】	
A	理解できた
B	やや理解できた
C	やや理解できなかった
D	理解できなかった
E	該当なし

	票数	%
A	16	37.2
B	23	53.5
C	4	9.3
D	0	0.0
E	0	0.0
計	43	100.0

(5) 講義全体で良かった点

- ・毎回速読を行ったことは良かった。
- ・実際に英文として書き起こすことは良い経験になっている。
- ・日本語が全くなく、全て英語で行われていたため、英語に集中できた。
- ・実践的な内容で英語を学べたこと。
- ・論文に必要なタームについて学べたこと。
- ・化学分野の英語について学ぶことができたこと。
- ・普段英語で話す機会がなかったため、必ず会話するという点がよかった。
- ・実際にネイティブの先生と話し、英文を添削していただける貴重な機会だったのがよかった。
- ・自分の研究内容に関して英語で論文を書き、それを添削していただき、最終的に発表をして評価して頂けたのは非常に良かったと思う。
- ・分からない所はフィードバックがあったので、分かりやすかった。
- ・少人数であったこと。
- ・反応の結果、過程を細かい理論を用いた丁寧な解説があり、大変理解しやすかった。
- ・学部生ベースで今まであまり触れてこなかった部分に対しても細かく分かりやすい説明が多かった。
- ・自分が理解しきれなかった内容についての確認が行えたり、知らなかった内容を知ることが出来た。
- ・普段触れることのないような分析法を学べたこと。
- ・質問を行えるような時間が取られており、分かりにくい箇所を聞きやすかった。
- ・様々な分析法について詳しい先生からの話を聴けたのでとても参考になった。
- ・配布資料があったので、助かった。
- ・学部生の時に知ることのできなかった発展的な内容を学べた。
- ・実際の研究での事例から解析法などのレクチャーがあり、どういった解析がどれだけのハードルの高さか、どうしたら自分のことに応用できるか考えられる内容だったこと。
- ・速読の練習によって英文の読むスピードが早くなった。
- ・参加型授業で程よい難易度で丁寧に教えていただいた。
- ・授業の構成は全体的に満足している。
- ・実際にスライドを使用して英語で発表すること。
- ・授業の準備がよく、英語の理解は深まったと感じた。
- ・違った分野の同期の英語が普段見かけない用語などで面白かった。
- ・英語による論文の書き方の指導があったので、今後自分で書く良い練習になった。
- ・それぞれの特色のある興味深い話を聞くことができ、大変勉強になった。
- ・授業が非常に分かりやすかった。
- ・各スライドで説明があり、理解しやすかった。
- ・自分の知らない分析法、技術について学べた。
- ・外部の講師の方の講義が多く研究をこれから深めていく中でとても為になった。
- ・プリントが配付されたため、ただ授業を聞くだけではなく問題演習等の演習があり、よかった。
- ・臨床分析における知識の再確認ができた。
- ・各教室での研究内容や手法について解説があったこと。
- ・実際の研究事例から講義内容が展開されていて技術をどう利用するか考えやすかった。
- ・留学した時の話や、企業の実際によくある話などの学問以外の話が聞けてよかった。
- ・よくスライド等を準備してくださった先生方が多く分かりやすかった。
- ・様々な物質の抽出方法が聞けてよかった。
- ・学部時代の復習的な内容にも触れていたこと。
- ・国家試験とは違う視点からの薬剤学について知ることができた。
- ・ハンドアウトが配付された回の授業に関しては取り組みやすかった。
- ・自分が関わっていない部分の創薬の流れを知る機会になった。
- ・深く踏み込んだ内容で大変勉強になった。
- ・医薬品において必要な試験や、今製薬会社において注目されている医薬品について学ぶことができた。

(6) 講義全体で悪かった点

- ・分からない時にもう少し日本語で話して欲しい。
- ・研究内容についてのプレゼンだったので、進捗状況によっては纏めにくい部分があったこと。
- ・課題、宿題の少し多すぎる。加速度的に課題が増えていき、学会期間負荷が大きかった時期がある。
- ・研究の紹介をしていただく中で専門的過ぎて理解できない時があった。
- ・専門の部分が多かったので、もう少し基本的なところも授業で話をして欲しかった。
- ・分析の知識がないと理解仕切れない点もあった。
- ・基礎研究によりすぎるとイメージが沸かなかったり、何に使えるのか、と思ってしまう所があった。
- ・実験手法に関する話も聞きたかった。
- ・試験開始時間が不明確であったこと。
- ・担当内容によっては基本的すぎる内容もあり、あまり面白くないものもあった。
- ・スライドをプリントして配付してもらえない授業は復習がしにくいので配って欲しい。
- ・普段接している分野とは違っており、踏み込んだ内容までになると正直難しく、どこまで理解するべきなのか困った(試験に出るのか等)
- ・専門的な分野を説明するにあたり、スライドのみの説明では中々理解が追いつかず、簡潔な資料等があったらもう少し取り組みやすかった。
- ・各講義においてハンドアウト資料を供するとシラバスに書いてあったが、資料を渡されない講義も半分程あった。

2. その他、講義に対する希望やご意見などを記載してください。

- ・英語特論の授業時間を変更して欲しかった。
- ・NMRの問題を解いてみたかった。